

平成30年度 設備設計1級建築士 総合 対策講座【日曜コース】日程表

●設備設計1級建築士 必修項目習得講座（平成30年） 講習時間 8.0h（法適合確認：4.0h＋設計製図4.0h）

回数	日程	時間	科目	項目	学習システム	学習内容・到達目標	添削指導
1	12月下旬より 本講座開講まで 繰り返し学習	1.0h	法適合確認1	空調・換気設備	法適合確認、○×トレーニングをもとに重要ポイントを学習 ＋ 各項目の最後に演習テストで、理解度を確認	空調・換気設備の法適合確認の重要ポイントを理解する	必修項目習得講 での添削指導は ありません。
2		1.0h	法適合確認2	給排水衛生設備		給排水衛生設備の法適合確認の重要ポイントを理解する	
3		1.0h	法適合確認3	電気設備		電気設備の法適合確認の重要ポイントを理解する	
4		1.0h	法適合確認4	輸送設備		輸送設備の法適合確認の重要ポイントを理解する	
5		1.0h	設計製図1	事務所ビルの計画の要点	要点記述トレーニングノート、 作図トレーニングノートをも とに、記述、作図のスピード アップのポイントを学習 ＋ 記述、作図のワーク	事務所ビルの各設備の計画の要点を理解する	
6		1.0h	設計製図2	空調・換気設備		系統図、機械室の配置図、平面ダクト図の描き方手順を学習する	
7		1.0h	設計製図3	給排水衛生設備		系統図、便所の平面図の描き方手順を学習する	
8		1.0h	設計製図4	電気設備		単線結線図、照明設備の平面図の描き方手順を学習する	

●設備設計1級建築士 総合 対策講座（平成30年） 講習時間 85.0h（法適合確認31.0h＋設計製図54.0h）

回数	5月開講 日程※2	2月開講 日程※2	時間	科目	項目	学習システム	学習内容・到達目標	添削指導	
1	5/27(日)	2/18(日)	5.0h	法適合確認1	ガイダンス	オリジナルテキストを用いて、 法適合確認のチェックポ イントを各項目ごとに学習 ＋ 各項目ごとに記憶が鮮明な うちにチェックテストを行い、 知識を整理・定着 ＋ 最後に演習テストで、当日の 理解度を確認 ＋ 演習テスト解説講義で出題 のポイントを確認	出題範囲、教材の特徴、合格するための学習の進め方を理解する	チェックテスト、 演習テストの添削 ＋ 宿題課題の添削	
					換気設備等の法規		居室の換気、火気使用室の換気、冷却塔 の法適合確認のチェックポイントを理解する		
					排煙設備の法規		排煙設備の設置基準、防煙区画、排煙機の風量、特殊な排煙設備、ボイラーの煙突 の法適合確認のチェックポイントを理解する		
					給水設備の法規		飲料水貯水タンク(受水槽)の構造等、配管設備の接続状況等、防火区画の貫通状況等 の法適合確認のチェックポイントを理解する		
2	6/3(日)	3/11(日)	5.0h	法適合確認2	演習テスト＋演習テスト解説講義	演習テストで出題のポイントを確実に理解する	排水設備の法規		排水設備の構造、排水槽、通気管、排水再利用設備 の法適合確認のチェックポイントを理解する
					排水設備の法規	非常用の照明設備の設置基準、非常用の照明設備の構造、非常用照明器具の配置方法、電源回路の耐熱規制 の法適合確認のチェックポイントを理解する			
					防災設備の法規1	避雷設備、予備電源設備 の法適合確認のチェックポイントを理解する			
					防災設備の法規2	演習テストで出題のポイントを確実に理解する			
3	6/10(日)	4/1(日)	5.0h	法適合確認3	演習テスト＋演習テスト解説講義	演習テストで出題のポイントを確実に理解する	輸送設備の法規1	輸送設備の基本事項、荷重の算定、構造上主要な支持部分、かごの構造 の法適合確認のチェックポイントを理解する	
					輸送設備の法規1	昇降路の構造、機械室、駆動(制御)装置、安全装置 の法適合確認のチェックポイントを理解する			
					輸送設備の法規2	非常用エレベーターの追加確認項目、小荷物専用昇降機、段差解消機、エスカレーター の法適合確認のチェックポイントを理解する			
					輸送設備の法規3	演習テストで出題のポイントを確実に理解する			
4	6/17(日)	4/22(日)	7.0h	設計製図1	ガイダンス	オリジナルテキストを用いて、 計画条件の読み取りのポ イント、計算の仕方、作図手 順を学習 ＋ ワークシートを用いて実践形 式の演習を行い習熟度を確 認	空調・換気設備、給排水衛生設備、電気設備、それぞれの出題傾向、解答するうえでの注意点を理解する	ワークシートの添 削 ＋ 宿題課題の添削	
					事務所ビルの設備計画		課題の読み取り方を確認し、計画の条件を的確に掴めるようにする。それぞれの設備計画の要点、概算負荷計算の仕方について、ワークシートを用いて実践演習を通して習得する		
					空調・換気設備の計画		空調・換気設備の計画条件の読み取り、機器表の作成、空調配管系統図、事務所のダクト平面図の作図手順について、ワークシートを用いて実践演習を通して習得する		
					給排水衛生設備の計画		給排水衛生設備の計画条件の読み取り、機器表の作成、給水・雑用水系統図、便所の配管平面図の作図手順について、ワークシートを用いて実践演習を通して習得する		
5	6/24(日)	5/13(日)	7.0h	設計製図2	電気設備の計画	電気設備の計画条件の読み取り、機器表の作成、単線結線図の作図、照明計算、照明配置図の作図手順について、ワークシートを用いて実践演習を通して習得する			
					電気設備の計画				
6	7/1(日)	6/3(日)	7.0h	設計製図3					
7	7/8(日)	6/24(日)	7.0h	設計製図4					
8	7/15(日)	7/15(日)	10.0h (法適合考査2.0h＋解説2.0h) (設計製図考査4.0h＋解説2.0h)	法適合確認4 設計製図5	模擬考査1	オリジナル模擬考査を本番 と同じ形式で実施 ＋ 解説講義で採点のポイント を確認	現状の実力を把握し、今後の答練に向けた学習指針を立てる。	模擬考査の添削 ＋ 宿題課題の添削	
9	7/22(日)	7/22(日)	4.0h	法適合確認5	答練(空調・換気設備)	オリジナル答練問題を用い て、項目ごとに問題演習 ＋ 解説講義で法適合確認の チェックポイントを整理	制限時間を設けて実践形式で空調・換気設備の答練を行い、答練の解説を通して法適合確認のチェックポイントを学習する	答練の添削 ＋ 宿題課題の添削	
					答練(給排水衛生設備)		制限時間を設けて実践形式で給排水衛生設備の答練を行い、答練の解説を通して法適合確認のチェックポイントを学習する		
10	7/29(日)	7/29(日)	4.0h	法適合確認6	答練(電気設備)	オリジナル答練問題を用い て問題演習 ＋ 解説講義で採点のポイント、 計算手順、作図手順を理解	制限時間を設けて実践形式で電気設備の答練を行い、答練の解説を通して法適合確認のチェックポイントを学習する	答練の添削 ＋ 宿題課題の添削	
					答練(輸送設備)		制限時間を設けて実践形式で輸送設備の答練を行い、答練の解説を通して法適合確認のチェックポイントを学習する		
11	8/5(日)	8/5(日)	7.0h	設計製図6	答練(課題文の読み取り方法)	オリジナル答練問題を用い て問題演習 ＋ 解説講義で採点のポイント、 計算手順、作図手順を理解	実践形式で課題文の読み取り方法を学習する	答練の添削 ＋ 宿題課題の添削	
					答練(必須問題対策)		制限時間を設けて実践形式で必須問題の答練を行い、答練の解説を通して採点のポイントを理解する		
12	8/19(日)	8/19(日)	7.0h	設計製図7	答練(選択問題対策)※1	オリジナル答練問題を用い て問題演習 ＋ 解説講義で採点のポイント、 計算手順、作図手順を理解	制限時間を設けて実践形式で選択問題の答練を行い、答練の解説を通して採点のポイントを理解する		
13	9/16(日)	9/16(日)	10.0h (法適合考査2.0h＋解説2.0h) (設計製図考査4.0h＋解説2.0h)	法適合確認7 設計製図8	模擬考査2	オリジナル模擬考査を本番 と同じ形式で実施 ＋ 解説講義で採点のポイント を確認	当年度講習会テキスト、本番と同じ体裁の答案用紙を用いて、本番と同じ時間(法適合確認2時間、設計製図4時間)の中で、時間配分を意識して解答を完成させる 合格レベル(上位)の解答例と自身の解答を比較して、習得できていない部分や理解が不十分な部分を把握し、本番までに克服する	模擬考査の添削 ＋ 宿題課題の添削	

※1 空調・換気設備、給排水衛生設備、電気設備の3分野の中から1つ選択します。

※2 講座日程および学習カリキュラムについては、変更を行う場合があります。

※3 講座日程等は、各校により、異なる場合がありますので、詳細は受講を希望する当学院各校まで、お問い合わせ下さい。

8月下旬～9月中旬(連続する3日間)
(公財)建築技術教育普及センター講習受講

10月上旬(予定)
設備設計1級建築士講習 修了考査